

教 科	科 目 名		
福祉	社会福祉援助技術		
科目の種類	単位	形態	講座定員
3年自由選択	2	通年	20人

科 目 に つ い て 授 業 内 容	科目の概要	<p>現代社会における望ましい社会福祉援助のありかたについて考え、技術を習得する。</p> <p>とくに、聴覚障害者の援助としての「手話」と、視覚障害者の援助としての「点字」について学ぶ。また聴覚障害者や視覚障害者との交流の機会をつくり、積極的にさまざまな他者と人間関係をむすぶ生き方を身につける。</p>	選択条件	福祉基礎履修が望ましい 生活科学エリア指定科目
	年 間 の 授 業 内 容	<p>■4月～1学期中間考査まで(12時間)</p> <p>1. 聴覚障害者の現状理解についての講義</p> <p>2. 指文字の習得</p> <p>3. 手話の習得</p>	授業形態	実技中心
		<p>■1学期中間考査～1学期期末考査まで(8時間)</p> <p>4. 手話技術のステージ発表の練習</p>	教科書・使用教材	教科書 なし 教材 『初めての点訳』(全国障害者情報提供施設協会)
		<p>■1学期期末考査～2学期中間考査(14時間)</p> <p>5. 手話技術のステージ発表の練習・本番</p> <p>6. 手話のさらなる習得</p> <p>7. 聴覚障害者との交流</p>	評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 援助技術の基礎知識 ・ 福祉援助活動への関心 ・ 援助技術の技能 ・ 授業態度
		<p>■2学期中間考査～2学期期末考査(16時間)</p> <p>8. 視覚障害者の現状理解についての講義</p> <p>9. 点字技術の習得</p>	評価の方法	・定期考査(筆記試験と実技試験) 課題提出や授業態度を加味した評価
		<p>■2学期期末考査～学年末考査(20時間)</p> <p>10. 点字の手紙を書くことによる視覚障害者との交流</p> <p>11. 点字図書の作成</p>	備考	
	<p>基礎技術の習得をきちんと実現することが絶対に必要なことになる。小テストを繰り返しながら、全員が技術を習得できるようにする。</p>			